U/Cサーバ
サーバ移行マニュアル

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

本書に掲載されている製品およびサービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2025/09/24	新規作成

1. はじめに 5
1.1. セットアップ内容に適したマニュアルについて 5
1.2. 名称について 5
2. 移行の概要 6
3. 前提条件 7
4. 移行対象と対象外 8
4.1. 移行対象 8
4.2. 移行対象外 8
5. 操作説明 9
5.1. 移行データの収集 9
5.1.1. 現行U/Cサーバの停止 9
5.1.2. UCサーバ移行ツールの実行(移行元処理) 10
5.1.3. 移行データの転送 12
5.2. 移行データの反映 13
5.2.1. 新規U/Cサーバの停止 13
5.2.2. UCサーバ移行ツールの実行(移行先処理) 14
5.3. 移行元の現行U/Cサーバの停止 17
5.3.1. グループポリシーの自動起動・停止設定の削除手順 17
5.3.2. タスクスケジューラの自動起動設定の削除手順 19
5.4. 移行先の新規U/Cサーバの起動 20
6. エラーメッセージと対応方法 21

1.はじめに

本書は「U/Cサーバ　バージョン10.0.0」以降同士のサーバ移行について、説明と手順を記述した資料です。

1.1.セットアップ内容に適したマニュアルについて

U/Cサーバのインストール、バージョンアップ、サーバ移行のうち、目的のセットアップ内容に沿った適切なマニュアルを参照してください。本書は以下のうち3つ目に該当します。

- 新規にU/Cサーバをインストール

  Windows Serverに新しくU/Cサーバをインストールする場合、別紙「U/Cサーバ 10.6.0 インストールマニュアル」を参照してください。

- 既存のU/Cサーバをバージョンアップ

  過去のバージョンのU/Cサーバがインストールされ ているWindows Serverにおいて、最新のU/Cサーバへバージョンアップする場合、別紙「U/Cサーバ 10.6.0 バージョンアップマニュアル」を参照してください。

  登録されているデータを保持した状態で、U/Cサーバのアプリケーションのバージョンアップを行います。

- 既存のU/Cサーバを元に新規U/Cサーバへ移行

  U/Cサーバがインストールされ ているWindows Serverを所有している状態で、別のWindows Serverを用意してそちらに最新のU/Cサーバを構築する場合、本書を参照してください。

  既存のU/Cサーバに登録されている情報を、新たに構築するU/Cサーバへ移行します。既存のU/Cサーバと新たに構築するU/Cサーバのバージョンが異なる場合でも移行可能です。

1.2.名称について

本書において使用する名称は以下の通りです。

- PostgreSQL

  U/Cサーバが使用するデータベースアプリケーションです。

- SystemManager

  広告取引EDIシステムと通信するための設定等を表示・入力するクライアント画面です。

- TaskManager

  データ交換を行うためのスケジュール登録などを行うクライアント画面です。

2.移行の概要

既存のWindows Serverから新規のWindows ServerへU/Cサーバを移行するには、U/Cサーバのフォルダ内で管理している送受信データと、データベースの情報を現行U/Cサーバから新規U/Cサーバへ移行する必要があります。

U/Cサーバの移行は、「UCサーバ移行ツール」を使用して作業を行います。移行作業の全体イメージは下記の通りです。

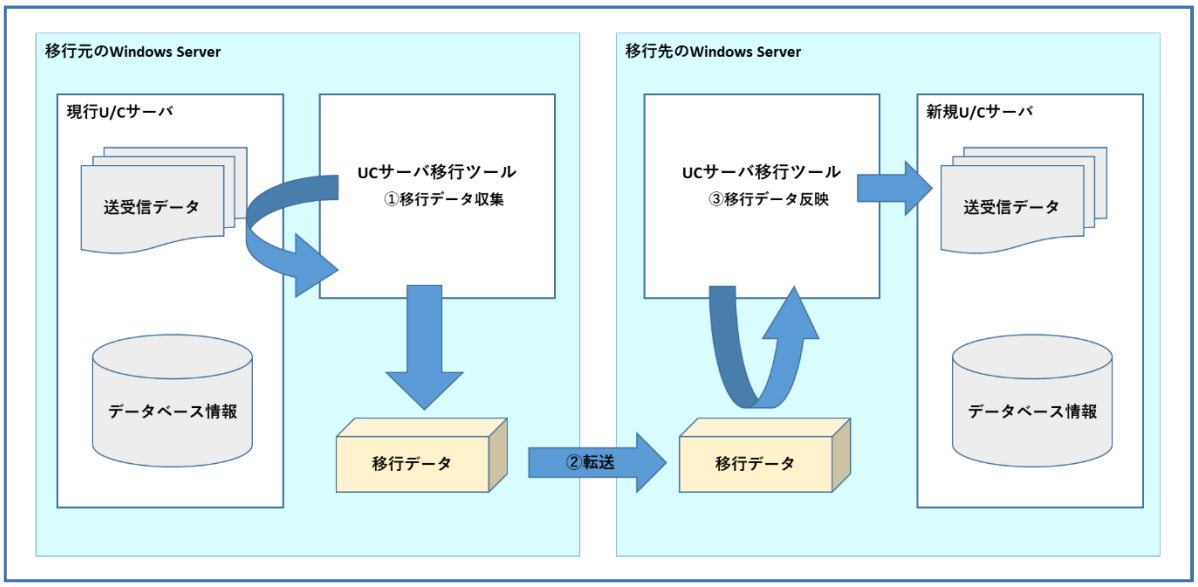

図 2-1 移行作業 全体イメージ図

① 移行データ収集
「UCサーバ移行ツール」を使用して移行元の現行U/Cサーバから移行データを収集し、移行データ(ZIP形式)を作成します。詳細な手順は「5.1.移行データの収集」をご参照ください。

② 転送
移行元の現行U/Cサーバから、移行先の新規U/Cサーバへ移行データ(ZIP形式)を転送します。
転送はご利用社様の環境に依存しますので、任意の方法で転送を行ってください。

③ 移行データ反映
「UCサーバ移行ツール」にて移行データ(ZIP形式)を解凍し、移行元の現行U/Cサーバに登録されていた内容を移行先の新規U/Cサーバへ登録します。
詳細な手順は「5.2.移行データの反映」をご参照ください。

3.前提条件

本書を使用してU/Cサーバの移行を実施するには、以下の前提条件があります。
必ず内容を確認してから移行作業を進めてください。

- インストール先パス
  移行元の現行U/Cサーバと、移行先の新規U/Cサーバへインストールされている「U/Cサーバ」と「PostgreSQL」のパスが同じであること。

- U/Cサーバ　稼働状況
  移行元の現行U/Cサーバにて、U/Cサーバが停止状態であること。
  移行先の新規U/Cサーバにて、別紙「UCサーバ　10.6.0　インストールマニュアル」に記載されたU/Cサーバのインストールが一通り完了しており、U/Cサーバが停止状態であること。
  ※　U/Cサーバの停止手順については操作説明の手順に含まれています。

- UCサーバ移行ツールの実行ユーザ
  本ツールの実行ユーザは各環境のU/Cサーバをインストールしたユーザと同じであること。

4.移行対象と対象外

4.1.移行対象

本作業において、移行先の新規U/Cサーバへ移行する対象は以下の通りです。

- 送受信データ(ユーザフォルダ)
  広告取引EDIシステムへ送信、または広告取引EDIシステムから受信したファイルです。
  送受信データが格納されているユーザフォルダごと移行します。
  例） C:¥Adedi¥User　C:Adedi¥System など

- データベースに登録されている情報
  SystemManager、およびTaskManagerの画面から登録・更新されたU/Cサーバの情報です。
  データベースで管理している情報を全て移行します。

4.2.移行対象外

本作業では以下の情報は移行対象外です。
移行先でも同様の情報が必要な場合は、別途移行作業または再設定を行ってください。

- ファイル転送プログラム
  U/Cサーバの管理フォルダ外に配置されているファイル転送プログラムは移行されません。

- ログファイル
  ログファイルは移行されません。

- ログイン情報
  SystemManagerとTaskManagerにログインする際に使用する情報です。
  ログイン画面に記憶されている接続先情報やログインID、パスワードは移行されません。

- PostgreSQL関連の設定
  ご利用社様にてデータベースであるPostgreSQLに独自のカスタマイズを行っている場合、カスタマイズされた内容は移行先へ反映されません。
  移行先へのカスタマイズ作業が別途必要となります。

- U/Cサーバ　設定ファイル
  ご利用社様にてU/Cサーバの設定ファイルに対して独自のカスタマイズを行っている場合、カスタマイズされた内容は移行先へ反映されません。
  移行先へのカスタマイズ作業が別途必要となります。

5.操作説明

5.1.移行データの収集

移行元の現行U/Cサーバで「UCサーバ移行ツール」の移行元処理を起動し、移行データ(ZIPファイル)を作成します。

※　移行データの収集には、移行元の現行U/Cサーバのデータ量に応じて数分から1時間程度かかる場合があります。

※　移行対象のデータ量が多い場合、サーバのディスク容量に移行データ(ZIPファイル)のサイズ分の空きが必要となります。移行処理を行う前にクリーンアップを実行することで必要な空き容量を確保することが可能です。

5.1.1.現行U/Cサーバの停止

下記の手順に従って、移行元の現行U/Cサーバを停止してください。

1. デスクトップ画面でキーボードのWindowsロゴキーを押しながらRキーを押し、「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開きます。

2. ダイアログボックスに「cmd」と入力してOKをクリックし、コマンドプロンプト画面を開きます。

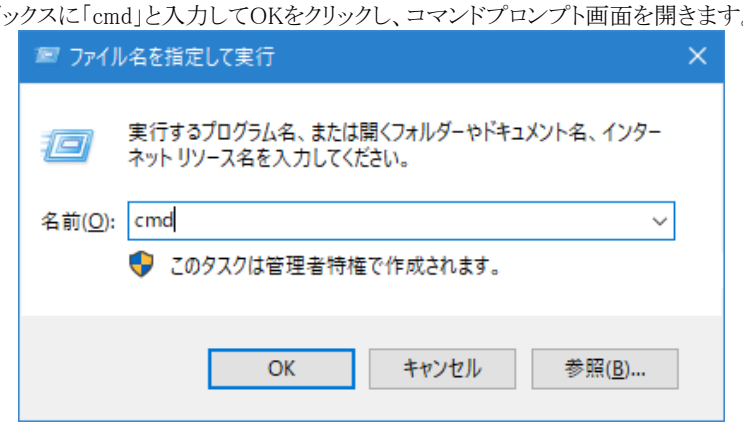

図 5-1 ファイル名を指定して実行

3. 「コマンドプロンプト」画面で「**%UCS_HOME%¥UcsProgram¥bin¥ucs shutdown**」と入力し、Enterを押して実行します。

4. 正常に停止した場合は「停止が完了しました」というメッセージが表示されます。

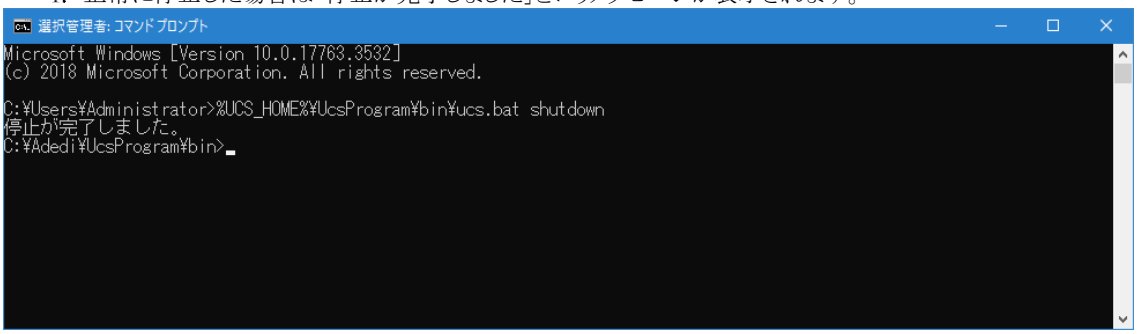

図 5-2 U/Cサーバの停止

5.1.2.UCサーバ移行ツールの実行（移行元処理）

下記の手順に従って、移行元の現行U/Cサーバで「UCサーバ移行ツール」の移行元処理を実施してください。

1. 「UCサーバ移行ツール」をフォルダごと配置してください。

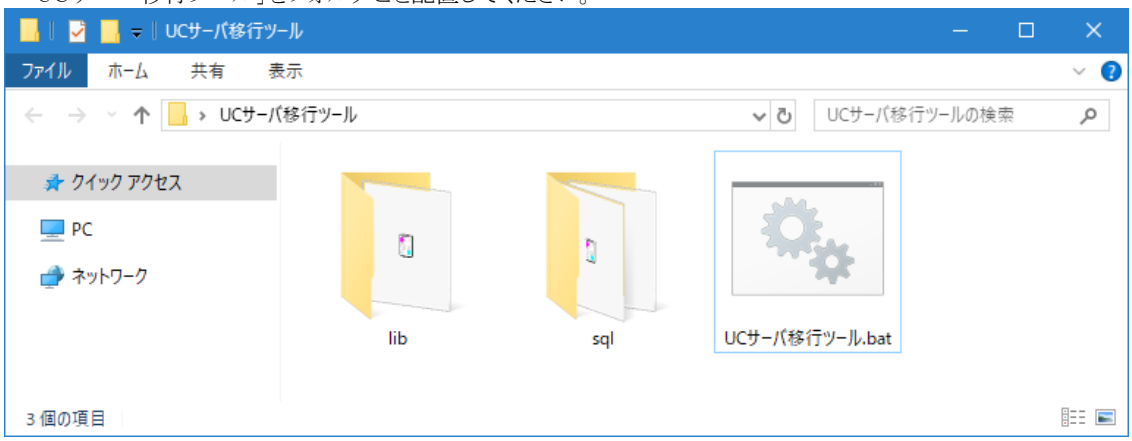

図 5-3 UCサーバ移行ツール.bat

2. 「UCサーバ移行ツール.bat」をダブルクリックし、「UCサーバ移行ツール」を起動してください。
ツールの処理内容の選択画面が表示されます。

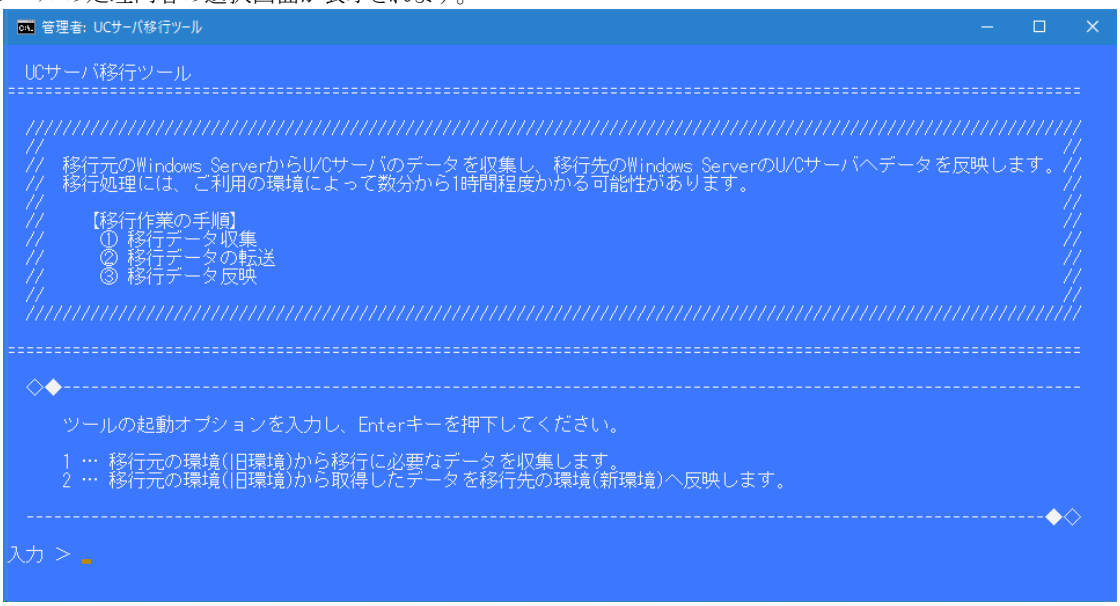

図 5-4 UCサーバ移行ツール 起動オプション選択

3.　「1」を入力し、Enterキーを押下してください。

※ 入力の際は半角数値を使用してください。

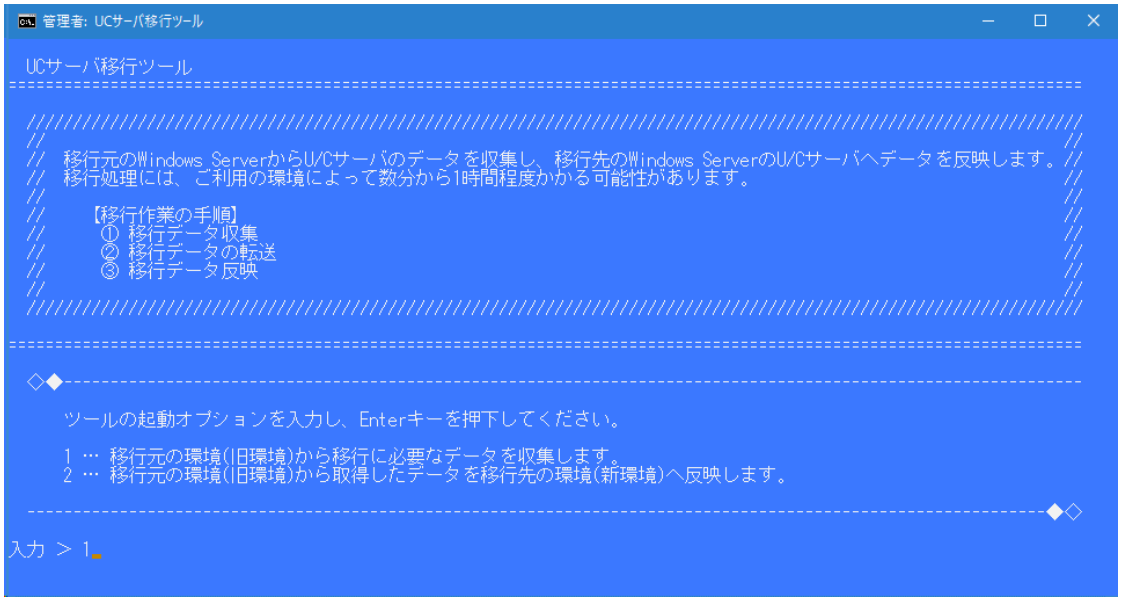

図 5-5 UCサーバ移行ツール 起動オプション入力

4.　入力内容に問題がないことを確認し、「y」を入力後、Enterキーを押下してください。
移行処理を中断する場合は「n」を入力後、Enterキーを押下してください。

※ 入力の際は半角英字を使用してください。

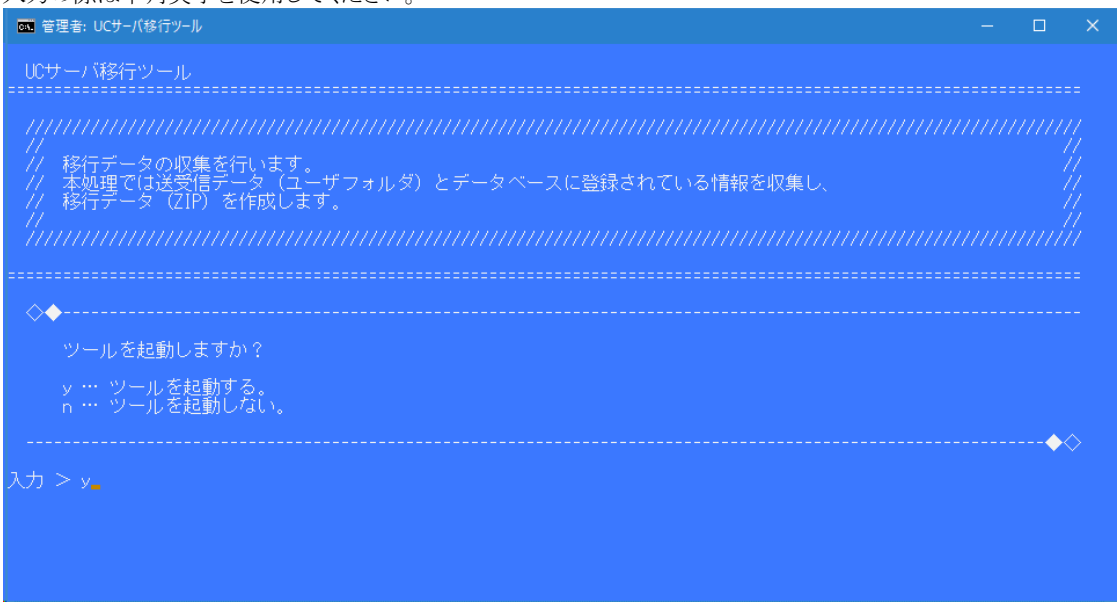

図 5-6 UCサーバ移行ツール 起動確認

5. 以上でツールの実行は完了となります。

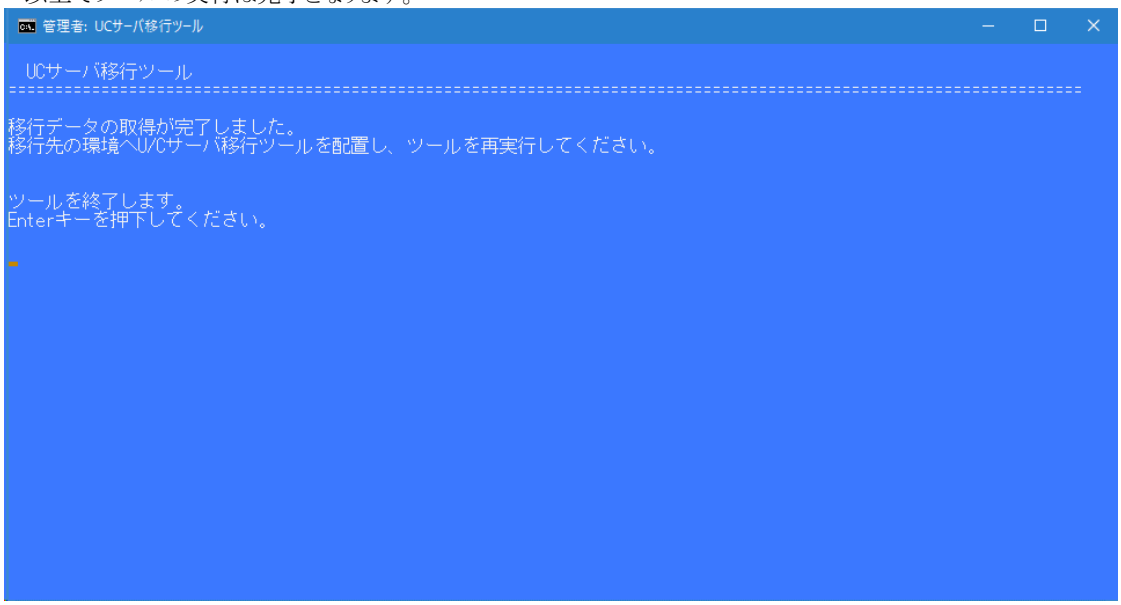

図 5-7 UCサーバ移行ツール 移行元処理完了

5.1.3.移行データの転送

「UCサーバ移行ツール」フォルダから、移行データ(ZIPファイル)を取得してください。

取得したファイルを移行先のWindows Serverの任意の場所に配置してください。

※ 移行データ(ZIPファイル)のファイル名は、「ikou_data.zip」で作成されます。

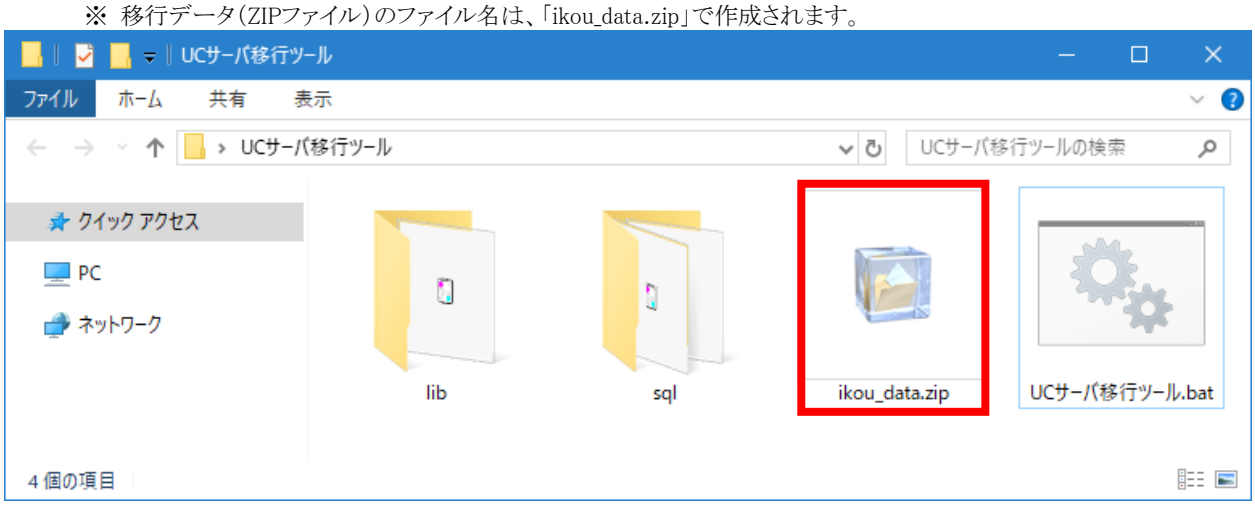

図 5-8 移行データの取得

5.2.移行データの反映

移行先の新規U/Cサーバで「UCサーバ移行ツール」の移行先処理を起動し、移行情報を反映します。

5.2.1.新規U/Cサーバの停止

下記の手順に従って、移行先の新規U/Cサーバを停止してください。

1. デスクトップ画面でキーボードのWindowsロゴキーを押しながらRキーを押し、「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開きます。

2. ダイアログボックスに「cmd」と入力してOKをクリックし、コマンドプロンプト画面を開きます。

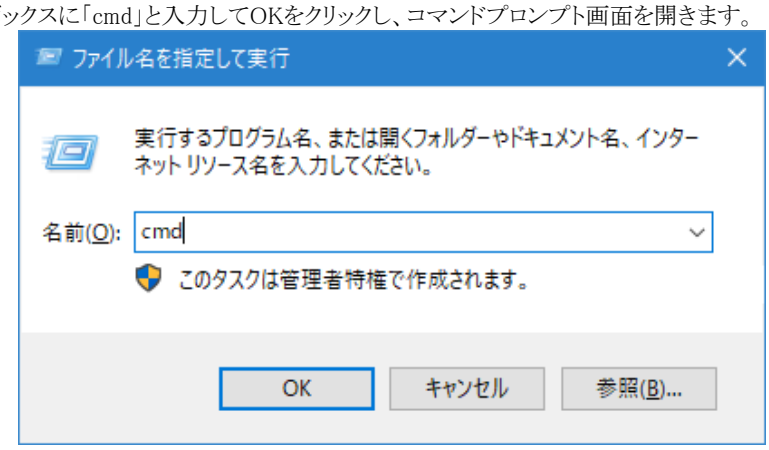

図 5-9 ファイル名を指定して実行

3. 「コマンドプロンプト」画面で「**%UCS_HOME%¥UcsProgram¥bin¥ucs shutdown**」と入力し、Enterを押して実行します。

4. 正常に停止した場合は「停止が完了しました」というメッセージが表示されます。

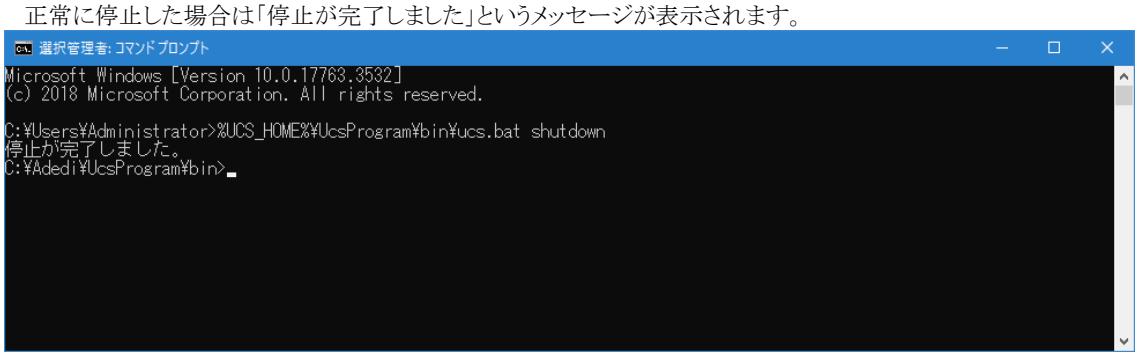

図 5-10 U/Cサーバの停止

5.2.2.UCサーバ移行ツールの実行（移行先処理）

下記の手順に従って、移行先の新規U/Cサーバで「UCサーバ移行ツール」の移行先処理を実施してください。

1. 「UCサーバ移行ツール」をフォルダごと配置してください。

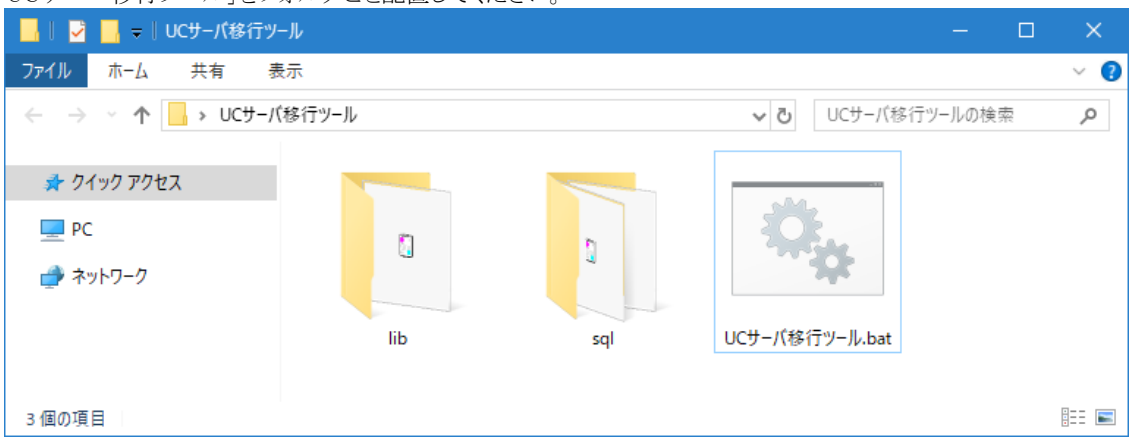

図 5-11 UCサーバ移行ツール.bat

2. 「5.1.3.移行データの転送」で配置した移行データ（ZIPファイル）を、「UCサーバ移行ツール」フォルダ配下に移動してください。

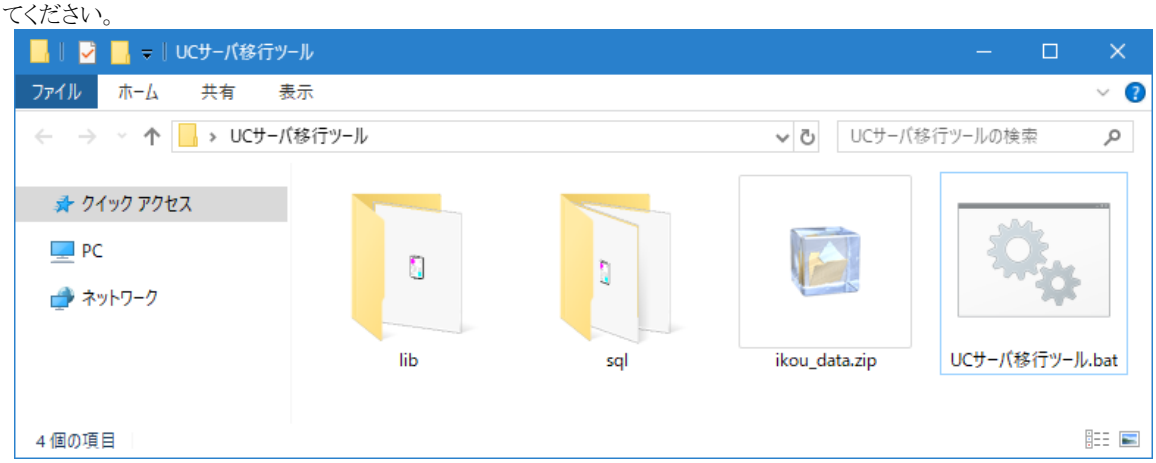

図 5-12 UCサーバ移行ツール 移行データの配置

3. 「UCサーバ移行ツール.bat」をダブルクリックし、「UCサーバ移行ツール」を起動してください。
ツールの処理内容の選択画面が表示されます。

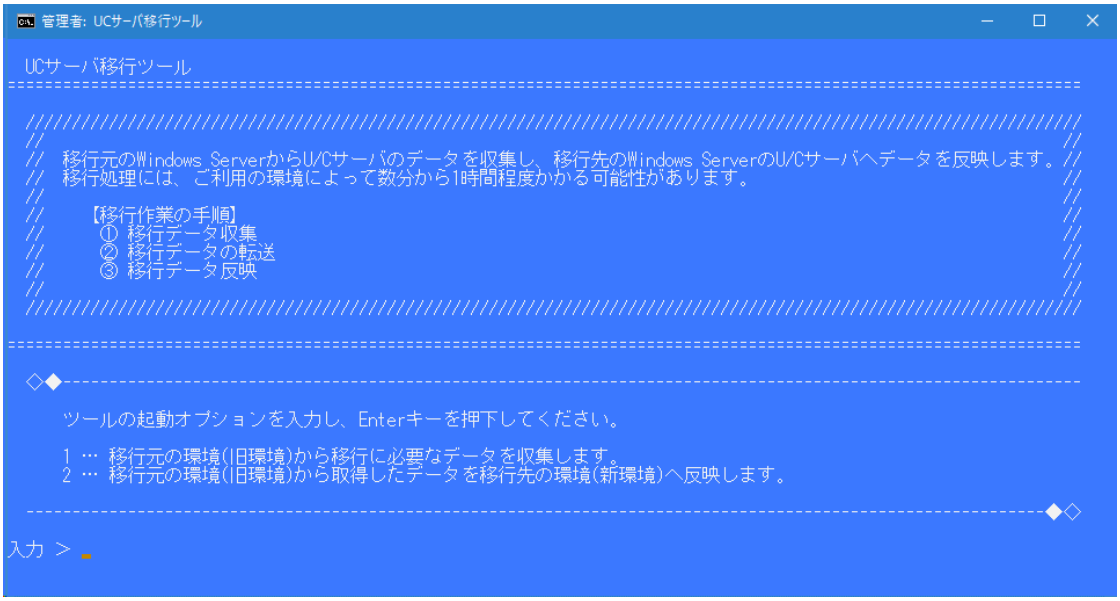

図 5-13 UCサーバ移行ツール 起動オプション選択

4. 「2」を入力し、Enterキーを押下してください。
※ 入力の際は半角数値を使用してください。

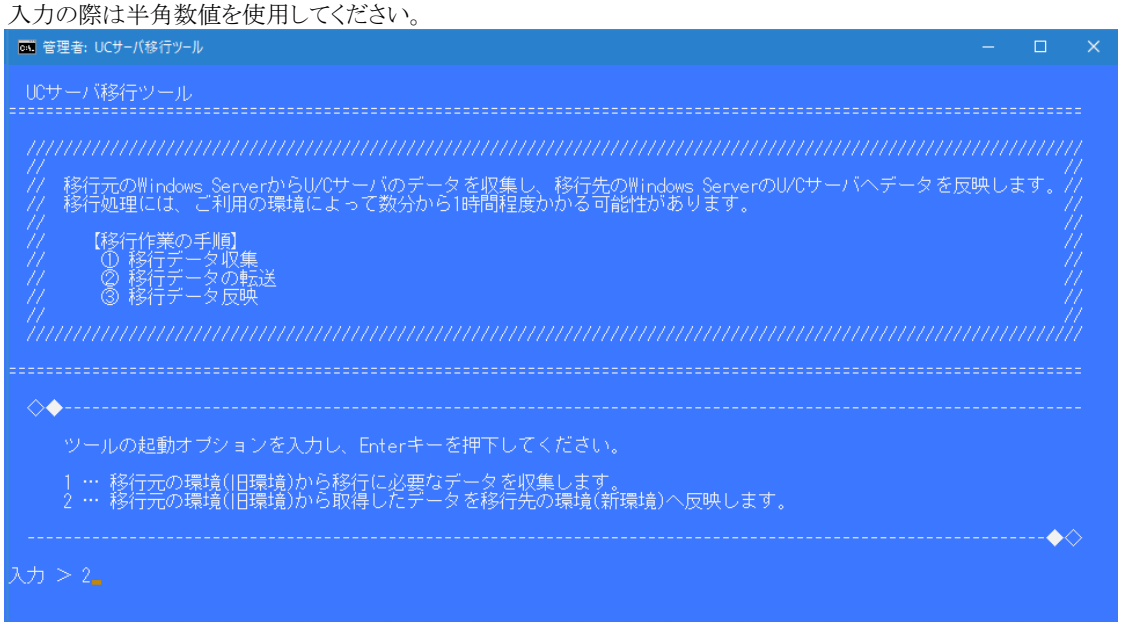

図 5-14 UCサーバ移行ツール 起動オプション入力

5. 入力内容に問題がないことを確認し、「y」を入力後、Enterキーを押下してください。
移行処理を中断する場合は「n」を入力後、Enterキーを押下してください。

※ 入力の際は半角英字を使用してください。

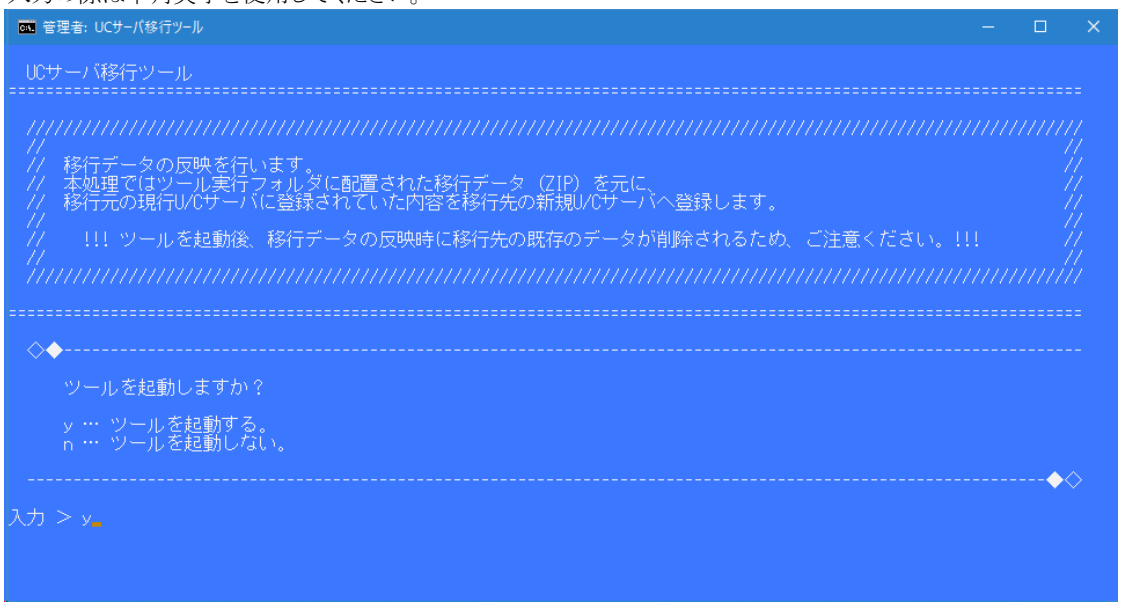

図 5-15 UCサーバ移行ツール 起動確認

6. 以上でツールの実行は完了となります。

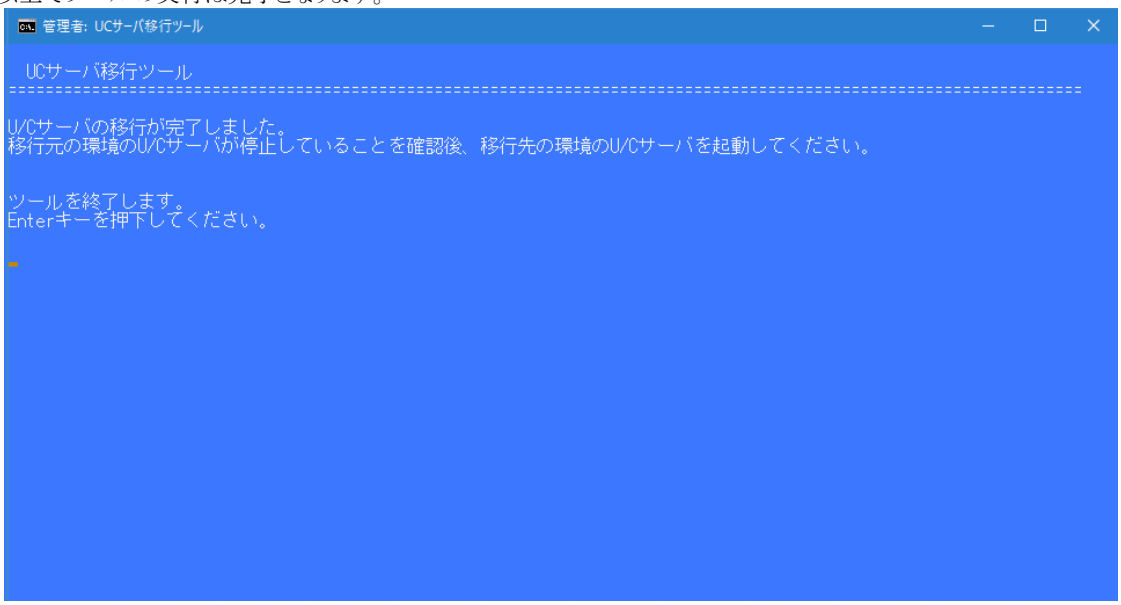

図 5-16 UCサーバ移行ツール 移行先処理完了

5.3.移行元の現行U/Cサーバの停止

U/Cサーバの移行処理が完了した後、移行元の現行U/Cサーバが停止している事を改めて確認してください。
グループポリシーやタスクスケジューラによるU/Cサーバの自動起動・停止設定を加えている場合、その設定の削除を行ってください。

※ U/Cサーバの自動起動設定の削除を行わなかった場合、次回Windows ServerのOS再起動を行った際に、自動的にU/Cサーバが起動してしまいます。

※ 移行元の現行U/Cサーバにて意図せず受信処理が起動すると、移行先の新規U/Cサーバでデータを受信できない可能性があります。

グループポリシー、タスクスケジューラによるU/Cサーバの自動起動・停止設定の削除手順を記述します。
使用している設定方法に合わせて設定削除を行ってください。

5.3.1.グループポリシーの自動起動・停止設定の削除手順

1. 以下のファイルパスにある「group_policy.bat」をダブルクリックし、ローカルグループポリシーエディタを起動します。
グループポリシーエディタの起動にはしばらく時間がかかります。

ファイルパス ： {U/Cインストールフォルダ}¥operation¥init¥group_policy.bat

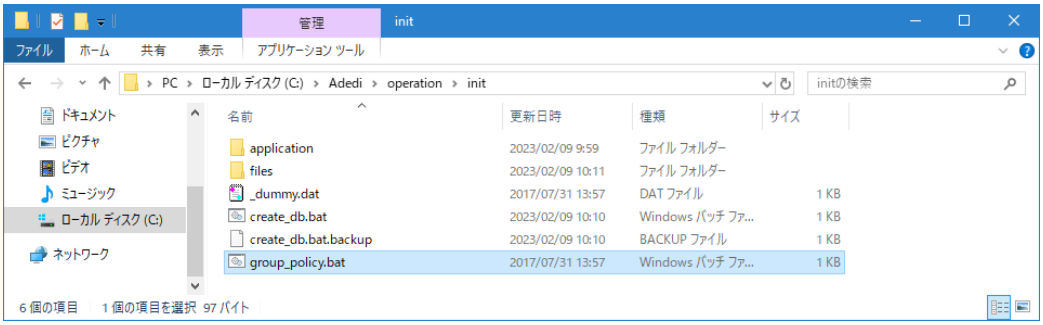

図 5-17 group_policy.bat

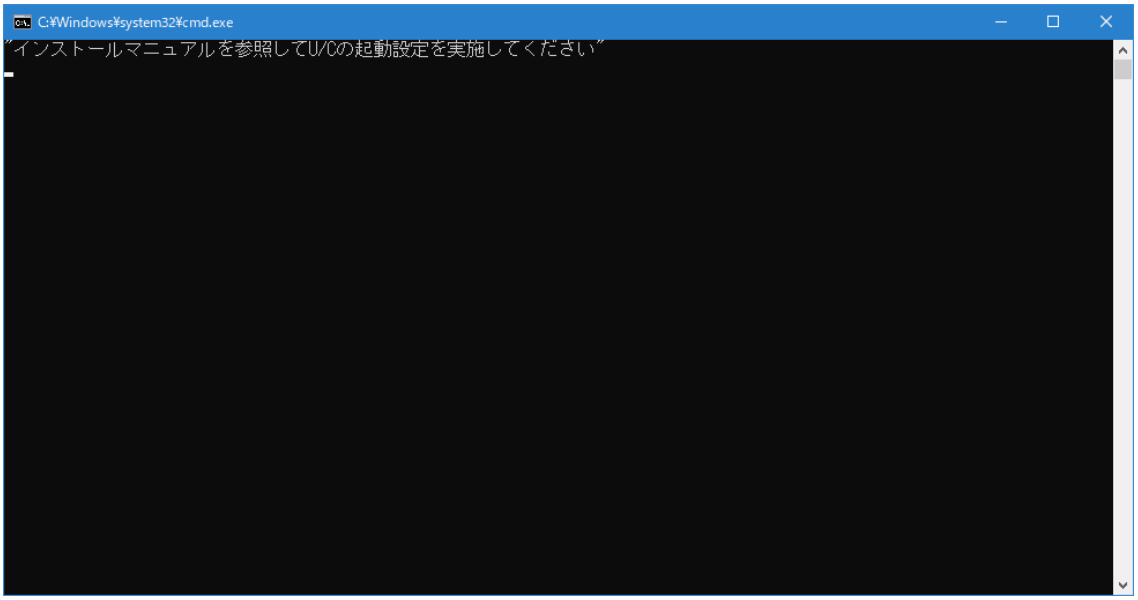

図 5-18 group_policy.bat 起動画面

2. ローカルグループポリシーエディタにおいて、コンピュータの構成 > Windows の設定 > スクリプト(スタートアップ/シャットダウン)を開きます。

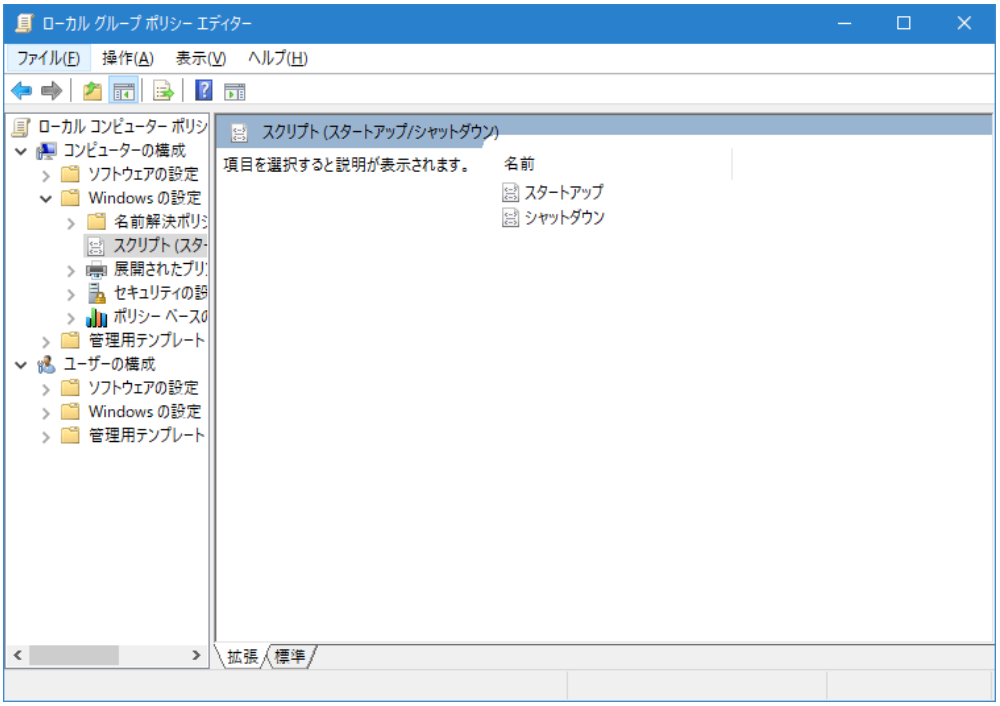

図 5-19 ローカルグループポリシーエディタ

3. スタートアップ/シャットダウンをダブルクリックし、プロパティ画面を開きます。
表示された各スクリプトの一覧からU/Cサーバの自動起動・停止設定を選択し、[削除]ボタンを押下します。

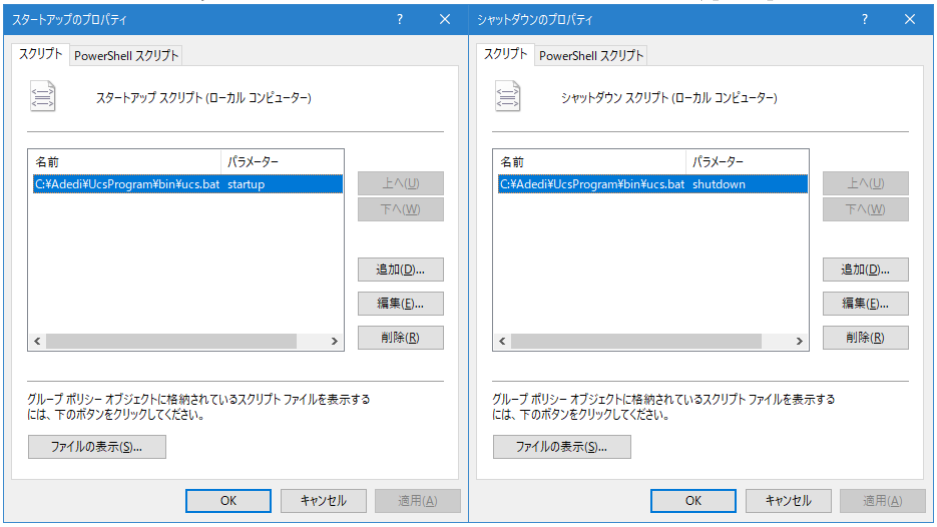

図 5-20 スタートアップ/シャットダウンのプロパティ 削除前

4. 削除されたことを確認し、[OK]ボタンをクリックします。
5. グープポリシーエディタに戻り、右上の「×」によりグループポリシーエディタを終了します。

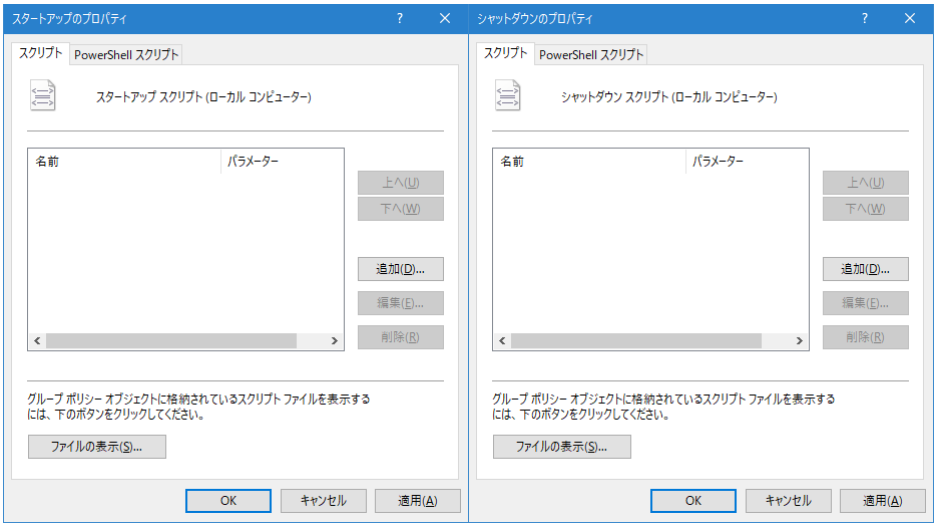

図 5-21 スタートアップ/シャットダウンのプロパティ 削除後

5.3.2.タスクスケジューラの自動起動設定の削除手順

1. デスクトップ画面でキーボードのWindowsロゴキーを押しながらRキーを押し、「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開きます。

2. ダイアログボックスに「**taskschd.msc**」と入力して[OK]ボタンをクリックし、グループポリシー エディタ画面を開きます。

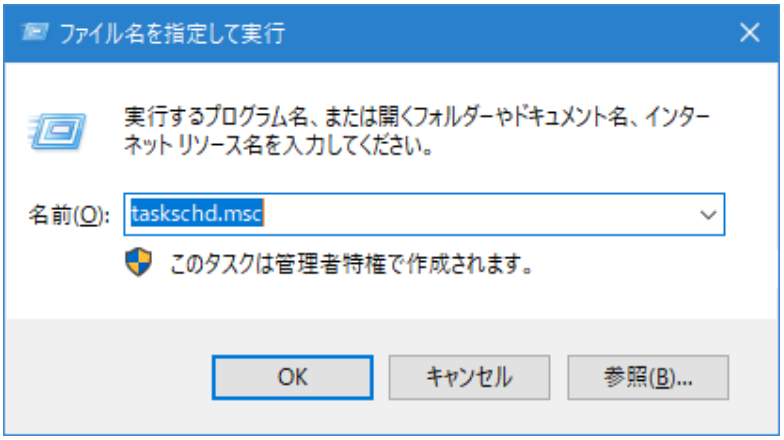

図 5-22 ファイル名を指定して実行 「taskschd.msc」

3. タスクスケジューラにおいて、タスクスケジューラ ライブラリからUCSの自動起動を設定したタスクを選択し、[削除]ボタンを押下します。

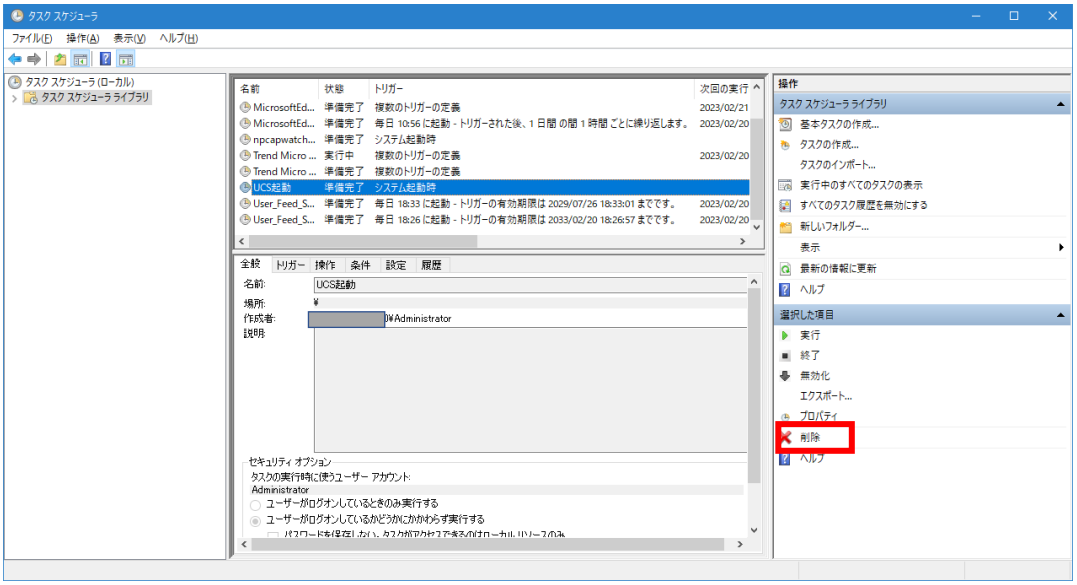

図 5-23 タスクスケジューラ ライブラリ

4. 削除されたことを確認し、右上の「×」によりタスクスケジューラを終了します。
以上でU/Cサーバの自動起動・停止設定の削除手順は終了となります。

5.4.移行先の新規U/Cサーバの起動

上記手順の移行元の現行U/Cサーバの停止が完了した後、移行先の新規U/Cサーバの起動作業を行ってください。
コマンドプロンプトよりU/Cサーバの起動コマンドを実行、またはOSにU/Cサーバの自動起動設定を加えている場合はOSの再起動を行うことでU/Cサーバの起動が可能です。

本作業にて、U/Cサーバの移行作業は完了です。

6.エラーメッセージと対応方法

UCサーバ移行ツールでエラーが発生した場合、以下の表から対応方法を確認してください。
不明点がある場合は、広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

エラーメッセージ	対応方法
U/C サーバのインストールを確認できないためツールを実行できません。 U/C サーバをインストールした環境でツールを実行してください。	U/C サーバがインストールされた環境でツールを実行してください。 インストール済みの場合は、ツールの実行に必要なファイルパスが認識されていない可能性があります。 Windows Server の再起動を行い、ツールを再実行してください。
ツールの起動に必要な JDBC ファイルを確認できないためツールを実行できません。 U/C サーバをインストールした環境でツールを実行してください。	
起動オプションは半角数値の「1」または「2」を入力してください。	起動オプションの指定は半角数値のみになります。 半角数値の「1」または「2」を入力してください。
データベースに接続できません。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**データベースの設定に誤りがある可能性があります。 対応方法は広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
U/C サーバが停止していないためツールを実行できません。 オペレーションマニュアルの項目「10.2.U/C サーバの手動停止」を実施し、ツールを再実行してください。	U/C サーバの停止ができていない可能性があります。 U/C サーバを停止の上、ツールを再実行してください。 上記手順を実施してもエラーが解消されない場合、U/C サーバ再起動の上、再度停止処理を実施してください。
移行データフォルダの削除に失敗しました。 以下のフォルダは不要ですので、手動で削除してください。 ｛ツール配置先｝¥UC サーバ移行ツール¥ikou_data	移行データの圧縮元のフォルダの削除に失敗していますが、移行データの収集は問題なく完了している状態です。 出力メッセージ記載されたフォルダは不要なため、削除してください。
以下のフォルダの削除に失敗しました。 手動で削除を行い、ツールを再実行してください。 ｛削除に失敗したフォルダのフルパス｝	U/C サーバのユーザフォルダが削除されていない可能性があります。 出力メッセージ記載されたファイルパスを確認し、削除してください。
前回実行時の移行データが残っているため、処理を実行できません。 以下のファイルを確認し、手動で削除を行い再実行してください。 ｛ツール配置先｝¥UC サーバ移行ツール¥ikou_data.zip	前回実行時の移行データが残っています。 必要に応じて退避等を行い、ツールフォルダ内の移行データを削除の上、ツールを再実行してください。
移行用データ収集フォルダの作成に失敗しました。 フォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	ツールの配置フォルダの権限が不足している可能性があります。 U/C サーバを操作する Windows のユーザがアクセス権限を持ったフォルダに「UC サーバ移行ツール」をフォルダごと配置してください。
ユーザフォルダ情報の取得に失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**ユーザ情報フォルダのファイルパス取得処理に失敗しています。 対応方法は広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**

ユーザフォルダ情報の取得に失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	U/C インストールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザが U/C サーバのインストールフォルダへの権限を持っていることを確認してください。
ユーザフォルダのコピーに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	
「version.txt」のコピーに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	
{読み込みに失敗した version.txt のフルパス} の読み込みに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	
DB 情報(カラム数)の取得に失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**データベースのバージョンアップ処理に失敗しています。 対応方法は広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
DB 情報の更新に失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	
DB 情報(レコード)の取得に失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。 上記対応を行ってもエラーが解消されない場合は、データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**ツールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザがツール配置先フォルダへの権限を持っていることを確認してください。 権限に問題がない場合、広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
DB 情報(シーケンス)の取得に失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**移行元の現行 U/C サーバのデータベース情報の取得に失敗しています。 対応方法は広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
DB 情報(シーケンス)の出力に失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	ツールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザがツール配置先フォルダへの権限を持っていることを確認してください。
DB 情報(シーケンス)の出力に失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	ツールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザがツール配置先フォルダへの権限を持っていることを確認してください。
移行データの圧縮に失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	
U/C サーバの移行データを確認できないためツールを実行できません。 「{ツール配置先}¥UC サーバ移行ツール¥ikou_data.zip」を配置し、ツールを再実行してください。	ツールフォルダへ移行データを配置し、ツールを再実行してください。
移行データの解凍に失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	ツールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザがツール配置先フォルダへの権限を持っていることを確認してください。
以下のファイル/フォルダの確認に失敗しました。 {確認に失敗したファイル/フォルダのフルパス} 移行データに問題がある可能性があるため、移行元のデータを再取得し、ツールを再実行してください。 上記対応を行ってもエラーが解消されない場合は、サポートデスクまでお問い合わせください。	**移行データが不足している可能性があります。 再度移行元の現行 U/C サーバから移行データを取得してください。 再取得した移行データでも解決しない場合、広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**

{UCS_HOME 配下の version.txt のフルパス} を確認できないためツールを実行できません。 U/C サーバの再インストールを行い、ツールを再実行してください。 上記対応を行ってもエラーが解消されない場合は、サポートデスクまでお問い合わせください。	**U/C サーバのバージョン確認に必要なファイルの確認に失敗しています。** **U/C サーバを再インストールし、ツールを再実行してください。** **再インストールをしても改善しない場合、広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
以下のフォルダの削除に失敗しました。 {削除に失敗したフォルダのフルパス} 対象のフォルダを手動で削除し、ツールを再実行してください。	U/C サーバのユーザフォルダが削除されていない可能性があります。 出力メッセージ記載されたファイルパスを確認し、削除してください。
ユーザフォルダのコピーに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	U/C インストールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザが U/C サーバのインストールフォルダへの権限を持っていることを確認してください。
既存のレコードの削除に失敗しました。 U/C サーバに問題がある可能性があるため、U/C サーバの再インストールを行い、ツールを再実行してください。 上記対応を行ってもエラーが解消されない場合は、サポートデスクまでお問い合わせください。	**移行先の U/C サーバのデータベースに登録された内容の削除に失敗しています。** **データベースの設定に誤りがある可能性があるため、広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
DB 情報(レコード)のインポートに失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**移行先の U/C サーバのデータベースに移行元のデータベース情報の反映に失敗しています。** **データベースの設定に誤りがある可能性があるため、広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
DB 情報(シーケンス)のインポートに失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**移行先の U/C サーバのデータベースに登録された内容の削除に失敗しています。** **データベースの設定に誤りがある可能性があるため、広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**
DB 情報(シーケンス)の読み込みに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	ツールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザがツール配置先フォルダへの権限を持っていることを確認してください。
{読み込みに失敗した version.txt のフルパス} の読み込みに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	
{SQL ファイル名} の読み込みに失敗しました。 ファイルまたはフォルダの操作権限が不足している可能性があるため、ツールの実行者の権限を確認し再実行してください。	ツールフォルダへの権限が不足している可能性があります。 ツールを実行する Windows のユーザがツール配置先フォルダへの権限を持っていることを確認してください。
バージョンアップ処理に失敗しました。 データベースに問題がある可能性があるため、サポートデスクまでお問い合わせください。	**データベースのバージョンアップ処理に失敗しています。** **対応方法は広告取引 EDI サポートデスクまでお問い合わせください。**